

## 市長会見の項目（概要）

と き：令和元年8月14日(水)14:00～

ところ：市政記者室

### ■ タブレット端末の持ち帰り学習の実施について

＜担当：教育委員会 教育センター 教育振興担当 電話：06-6572-0667＞

＜担当：教育委員会事務局 学校経営管理センター 給与・システム担当

電話：06-6115-8082＞

【フリップあり】

- ◆ 全国学力・学習状況調査の結果から大阪市の子どもは、以前から、全国と比べて、学校の授業時間以外に勉強している時間が短い傾向にあり、家庭学習習慣が定着していないという課題があることが分かっている。
- ◆ 文部科学省の、全国学力・学習状況調査結果の分析において、学力と家庭学習習慣には相関関係があることが示されており、家庭学習習慣の定着を図ることが、学力向上につながると考えられる。
  
- ◆ これまで、放課後学習等を支援する「学びサポーター」の配置や、家庭でのプリント学習等を実施してきたが、これらに加えて、ICTを活用した取組として、デジタルドリルの入ったタブレット端末を家庭に持ち帰る取組を行う。
- ◆ 子どもたちは、タブレット端末で解いた問題を自分自身ですぐに答え合わせすることができ、自分の強み弱みを知ったうえで学習を進めることができる。これにより、主体的な学習を促すことができ、家庭学習習慣の定着に資すると考えられる。
- ◆ また、学校で、タブレット端末から学習記録を自動的に収集することができるため、子ども一人一人の家庭学習状況を把握することができ、授業や放課後において個別に指導したり、家庭で再度取組むよう働きかけたりすることで、弱点の克服が期待できる。
- ◆ 令和元年8月から令和3年3月まで試行的に実施する。
- ◆ 対象校は小学校20校、中学校6校で、対象は、令和元年度の小学5年生約1,200人と中学2年生約450人とし、来年度は、そのまま持ち上がることとする。
- ◆ 対象教科は、小学校が算数、中学校が数学と英語である。
- ◆ 家庭学習の記録から家庭学習状況の変容を把握するとともに、定期的なテストにより学力向上への効果を検証するなどしたうえで、今後の取組について検討する。
- ◆ この試行が成果を上げ、子どもたちの家庭学習習慣の定着が図られ、ひいては学力向上につながることを期待している。